

## フォトコンテスト「回憶中的福岡 2022」について

### —コロナ下におけるインバウンド誘客に向けた取組み—

香港事務所長 波多野 直美

#### 1. 香港事務所フォトコンテスト「回憶中的福岡 2022」実施の背景

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、かつてのように自由に訪日旅行ができない状況の中、インバウンド市場においては、この間、いかに消費者（＝潜在的な訪日外国人観光客）の関心を繋ぎとめるかということが香港においても大きな課題となっている。海外旅行への関心をいかに獲得し続け、コロナ後の旅行先として本県を選んでもらうかが肝心である。

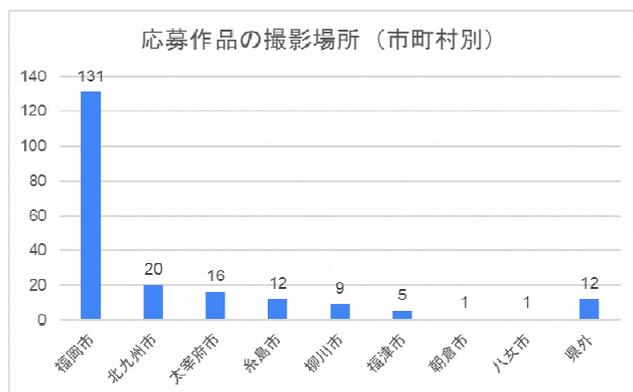
このため、当事務所が実施している従来のプッシュ型の情報発信ではなく、Facebook（以下「FB」）を活用したフォロワー参加型のフォトコンテストを実施した。なお、実施にあたっては、昨年度、本県バンコク事務所が実施して好評を博したフォトコンテストを参考とした。

本レポートでは、フォトコンテストを通して見えてきた課題などを報告したい。

#### 2. 取組の内容

フォトコンテストの作品募集期間は2022年1月10日から23日までの2週間で、2020年2月以前に本県を旅行した際に撮影した写真に文章を添えて、1人1作品のみ応募することを要件とした。審査は当事務所の他、福岡県観光連盟や香港在住の日本人フォトグラファーの協力を得て行ったほか、1次審査を通過した作品についてFB上で人気投票を行い、最も多く「いいね」を獲得した作品を「Most Popular 賞」として選出するなど、受賞作品の決定過程においてもフォロワーが参加できる仕組みとした。

フォトコンテストには最終的に207点の応募があり、撮影場所としては福岡市の写真が圧倒的に多かった（図1）。中でも目立ったのが海の中道海浜公園や大濠公園、舞



（図1）応募作品の撮影場所の件数（市町村別）

鶴公園などの広々とした「公園」で、季節の花木に囲まれて家族や友人との時間を満喫する姿だった<sup>1</sup>。

また、写真に添えられた文章をみると、本県について、「香港からとても近いので、その分たくさん旅行を楽しめる」、「東京や大阪のような大都市ではないが、都会的な側面もゆったりした側面もあり、何でも揃っている」などのコメントが複数寄せられた。



【最優秀賞】謝梓棠「我們仨走過的粉蝶花田」

ここから、香港から距離的に近く、都心から近距離で自然豊かな自然が味わえるなど福岡のポテンシャルの高さを改めて確認できた。

一方で、県内には福岡市以外にも豊かな自然を堪能できる場所が多数存在するが、福岡市以外の撮影場所の件数は少なく、あまり認知されていない可能性がある。今後は、これらの地域の魅力も積極的に発信していきたい。

### 3. フォトコンテストを踏まえた今後の取組み

訪日旅行ができない状況でも今回実施したフォトコンテストのような消費者が興味を持つようなコンテンツであれば、消費者の支持や関心を獲得できるということが分かった。また、フォロワー参加型にすることで、消費者は生きた情報を得やすく、また、フォロワー同士の新たな繋がりが生まれるなどの効果も期待することができる。今後は、機会を捉えてフォロワー参加型の取組みを増やしていきたい。



【Most Popular 賞】

董彦之「2018 相聚福岡・初雪」

また、今回のフォトコンテストでは、観光パンフレット用にプロが撮影した写真とは異なり、実際に本県を旅行した人たちの「あたたかみ」が感じられる写真が数多く寄せられた。今後はこれらを用いて観光パンフレットを兼ねたフォトブックを作成するなど、応募作品をひと味違った本県観光 PR 用素材として活用し、更なる誘客に繋げていきたい。

<sup>1</sup>全体の約 19%に当たる 40 作品が「公園」で撮影した写真であった。その他、「クリスマスイルミネーション」や「神社（鳥居や絵馬）」を撮影した作品も数多く寄せられた。